

## 10. シーラントおよび予防的レジン修復について

○本川 渉、手嶋 文史、一木 数由、吉田 穰

(福歯大・小児歯)

著者らは永久臼歯へのシーラントの応用を3 stagesに分けて行なっている。すなわち stage 1 は半萌出歯における無処理Fシーラントあるいはグラスアイオノマーセメントによる填塞、stage 2 は萌出後に行なう裂溝侵入性の優れた Teethmate-A による填塞、stage 3 は初期ウ蝕発現時、歯質を削除し、レジンシーラントあるいは修復用コンポジットレジンで填塞するところの予防的レジン修復法である。今回、これらの方法について述べる。

なお、シーラントの予後不良の最も大きな要因として小窩裂溝の清掃不良が挙げられるが、著者らは低速エンジンを回転させながらスクラッチポイントあるいはダイヤモンド付スクラッチポイントとGK-101液を用いる清掃法を行なっているため、併せて紹介する。